



進路だより

進路だよりのスタート

第3学年がスタートしました。「進路だより」にはいくつかのねらいがあります。それは、これからの自分の在り方や進むべき道を探したり進路についての意識を高めたり、進路に関する情報と連絡を「学校」「生徒」「家庭」の3者が共有することなどです。

今後、3月まで進路だよりを発行します。進路だよりをきっかけとし、中学校の卒業直後(高校進学)のことだけでなくこれからの自分の生き方や、将来の自分の理想の姿を描けるようになってほしいと思います。

進路だよりの目的

自分のこれから
(将来)を考える

進路について
意識を高める

進路情報の
共有化

進路だよりの活用方法

① 内容を正確に把握しましょう！

わからないことをそのままにしておかないこと。進路のことは、誰でも初めて経験することがほとんどです。聞くことは決して恥ずかしいことではありません。担任の先生に何でも聞きましょう。また、担任の先生が説明をしながら、進路だよりを読むことがあります。自分の立場や考えと照らし合わせて、進路だよりを読みましょう。また、必要な場合はメモすることも大切です。

② 家族の話題にしましょう！

進路だよりは、「生徒の皆さん」と「保護者の皆さん」に向けた内容です。進路だよりが配付された日(発行日)に、必ず保護者の方に目を通してもらってください。そして、書かれている内容について、あるいは発行される度にこれからの自分の姿について話してください。

③ いつでも確認できるようにしましょう！

進路だよりの内容は、時には今の自分にとって必要がないこともあるかもしれません。しかし、自分の進路に対する考え方も変わり、後に必要な情報になることも十分考えられます。進路だより用のファイルを作るなどして、進路関係の資料を各家庭で保管してほしいと思います。

保護者の皆様へ



今年度、進路業務を担当いたします永井です。保護者の皆様におかれましては、お子様の卒業後の進路について不安に思われていることが多々あるかと思います。進路だよりや学年PTA、あるいはお子様を通じて進路情報を共有していきます。どうぞ、よろしくお願いたします。また、お子様におかれましても、ご家庭の中で保護者の皆様と同じように、あるいはそれ以上に不安を抱え、葛藤しているのではないのでしょうか。今後ご家庭で、できるだけお子様と進路についてお話しする時間をとっていただき、お子様の気持ちの面も含め、フォローを保護者の皆様によりよくお願いたします。

お子様とお話をする時のお願いとしましては、「子ども自身が自分で考え、決める」という姿勢を大切にしてお話しいただければと思います。お子様は数年後、社会に出て自立し生きていくこととなりますが、その中でたくましく生きていくために「自分で考え、判断し、行動する力」を身に付ける必要があります。学校では、今後の進路指導過程の中で、そのような力を身に付けさせたいと考えています。保護者の皆様と学校とが同じ気持ちで支え、お子様の成長を促していければと思います。

ご不明な点等がございましたら、担任あるいは進路担当の永井までご連絡いただければと思います。

卒業までの1年間どうぞよろしくお願いたします。